



『観察する男』

映画を一本撮るときに、監督が考えること

想田和弘著 ミシマ社編

ISBN：978-4-903908-73-1 C0095 / 四六判並製 / 264頁 / 定価1,800円+税

2016年
1月22日
刊行

レンズ越しに観て、感じ、考えたこと——
映画が完成するまでの2年間を追う。

装丁：尾原史和 (SOUP DESIGN)

小さな世界から垣間見える、グローバルで巨大な問題を扱った観察映画「牡蠣工場」（2016年2月公開）。

美しい瀬戸の海。過疎の町に
グローバリズムがやってきた。
「歴史の歯車」が、いま、静かに回り出す——

そんな「観察映画」を制作する想田監督を、
ミシマ社編集部が観察。メタのメタのような、
不思議なドキュメンタリー・ノンフィクション！

想田和弘（そうだ・かずひろ）

1970年栃木生まれ。東京大学文学部卒。スクール・オブ・ビジュアルアーツ卒。93年からニューヨーク在住。映画監督。台本やナレーション、BGM等を排した、自ら「観察映画」と呼ぶドキュメンタリーの方法を提唱・実践。

監督作品に『選挙』『精神』『PEACE』『演劇1・2』『選挙2』。著書に『なぜ僕はドキュメンタリーを撮るのか』（講談社現代新書）、『熱狂なきファシズム』（河出書房新社）、『カメラを持って、町へ出よう』（集英社インターナショナル）など。

テーマ、台本、キャスト、未定。

しかし、海辺の町でカメラを回せば、そこには、グローバリズム、高齢化、震災の影響、第一次産業の苦境…すべてが映りこんでいた——！

1月刊

『観察する男 映画を一本撮るときに、監督が考えること』

想田和弘（著）、ミシマ社（編） ISBN：978-4-903908-73-1 価格¥1,800+税

ご注文数

冊

* 仕掛け用パネルご用意します！ → A4 ・ A3

4刷

『いま、地方で生きるといふこと』西村佳哲（著）

ISBN：978-4-903908-28-1 定価¥1,700円+税 2011年8月刊

ご注文数

冊

2刷

『善き書店員』木村俊介（著）

ISBN：978-4-903908-46-5 定価¥1,800円+税 2013年11月刊

ご注文数

冊

●ミシマ社の本の仕入れ方法について（基本パターン）

直接取引（返品可） *詳細は別途、「取引覚書」をご用意しています。

- ①掛率：70%
- ②納品：宅配便で直送します（送料はミシマ社負担）。
- ③返品：随時入帳可能（送料は書店様負担）。
- ④精算：新刊などは3ヵ月後、補充などは当月請求。
返品は受領月の請求金額から控除、控除しきれなかった場合は、
次回の請求より相殺を原則とする。
- ⑤支払：月末締めでご請求、翌月末までのお支払い。手数料ミシマ社負担。

●取次ルート（返品不可）

注文品のみ出荷、返品はできません。太洋社様経由で各取次へ搬入します。

直

貴店名：

ご担当者：

様

通信欄：